

伝統芸能振興の取り組み ～コロナに負けず、博多の伝統芸能を守る～

福岡(博多)は「芸どころ博多」と呼ばれ、今でもその風土が根付いている地域です。平成3年には、博多伝統芸能の振興を図り、さらには地域経済や地域観光の発展に寄与するために、福岡商工会議所が中心となり、「博多伝統芸能振興会」を設立しました。博多芸妓をはじめ、筑前博多独楽や筑紫舞など博多の伝統芸能を伝承する団体への支援を行っています。

イベント 情報

博多伝統芸能DAY

～『博多』の唄や踊りを愉しむ～

博多伝統芸能振興会(会長＝藤永会頭)では、毎年12月に「博多をどり」を開催してまいりましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため次年度に延期いたしました。また、当振興会が支援する伝統芸能団体も、出演予定の多くの舞台やイベント等が中止・延期となり、苦境に立たされている状況です。

そこで、当振興会では、博多の伝統芸能の火を絶やさないために、伝統芸能団体の支援の一環として小規模ではありますが、感染防止対策を徹底した上で、特別公演を開催いたします。

開催日時	2月23日(祝・火) 13:30～16:30(開場 12:45)
会場	電気ビル みらいホール (福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館4階)
参加費	3,000円(税込)
定員	200名(収容定員の50%以下)

出演団体 の紹介

博多芸妓(はかたげいぎ)

博多に芸妓が登場したのは江戸時代の中頃以降といわれています。大阪の芸妓が長崎の茶屋などに招かれて客を楽しませていたが、長崎での滞在は百日以下と定められていたため、一時博多などで稼ぎ、再び長崎へ戻りました。その中から博多に定住する者が出て、それが博多芸妓のルーツになったといわれています。明治、大正時代には、おおかできっぱがいいとの評判で世に知られ、2,000名を超えた博多券番の芸妓も、時代の移り変わりとともに減少し、現在は14名でその伝統を守っています。



INFO

令和3年(本年)1月より
半玉デビュー

比奈鶴
(ひなづる)

令和3年(本年)1月より
1本立ち

わ乃桂
(わのか)

筑前博多独楽



450年以上の歴史を持つ曲技であり、天皇や将軍に愛された天覧芸です。伝統芸能として福岡県無形文化財の第1号に指定されています。

筑紫舞



九州に発祥を持つ、千年以上前の文献に既に名前のある舞です。特徴は、すり足で舞われるおごそかな舞と、跳躍や足拍子といったダイナミックな技とをあわせ持つことです。舞に伴うさまざまな口伝も学問的に注目されています。

国際文化交流 鯉の会・ (一社)日本国際文化協会九州センター



各領事・諸外国留学生、海外古典舞踊家、そして日本の学生を研修生として受け入れ、日本舞踊を通して日本文化の「伝統と創造」を伝え、国際交流や相互理解を深めることを目的とした活動を行っています。

博多民踊協会



昭和37年から博多どんたく港まつり、博多祇園山笠の宣伝隊や海外親善使節への参加を通じて、福岡に残る伝統的な踊りを披露しています。

福岡民踊舞踊四季の会



日本の四季折々の美しさや、地域の歴史、祭りを通して伝承したいとの思いで昭和40年に設立され、県内で活動をされています。毎年おどり公演を開催し、収益の一部を社会福祉へ支援するなど、施設訪問、ボランティア活動に取り組まれています。



※本公演には出演していませんが、当振興会では、他にも以下の団体を支援しています。

- ・博多仁和加振興会
- ・博多松離子振興会
- ・福岡民踊会
- ・栄奈美会



当振興会ホームページ(<https://hakata-geinou.jp/>)より お申し込みください。

※新型コロナウイルス感染状況の推移等により、急遽開催を中止させていただくことがありますのでご理解・ご協力をお願いします。



新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、『博多伝統芸能館公演』も開催しています。現在は博多芸妓のみ出演。詳細は本誌11ページをご覧ください。



博多伝統芸能館 外観

入会案内

伝統芸能を伝承する団体の支援を行う 博多伝統芸能振興会へ入会しませんか？ 年会費 30,000円

詳しくは事務局までご連絡ください。

お問い合わせ／博多伝統芸能振興会事務局（地域振興グループ） TEL 092-441-1118 E-mail : fkkdentou@fukunet.or.jp